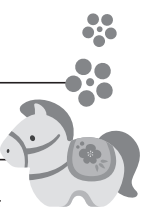


ASUKU ASK



1
2026
No.444 

組合員と産地で未来を拓く紀伊半島地域協議会

- ① 農業生産法人(有)王隠堂農園
- ② (有)農悠舎
- ③ (株)パンドラファームグループ
- ④ (株)紀伊半島エリア再生産組織(KARP)*
*Kiihantou Area Re Production
- ⑤ 美吉野醸造(株)



▲柿の栽培、加工品もたくさん!



▲吉野杉の樽で仕込む日本酒



▲みかん畑が広がります



▲50℃を超える中の天日干し作業は大変

- ⑥ 豊永林業(株)
- ⑦ 吉野銘木製造販売(株)
- ⑧ (株)紀伊スタイル



▶吉野杉をいつもの暮らしに取り入れて

- ⑨ (株)オルト・(株)ポタジエ
- ⑩ ベルカーゴネットシステム(株)

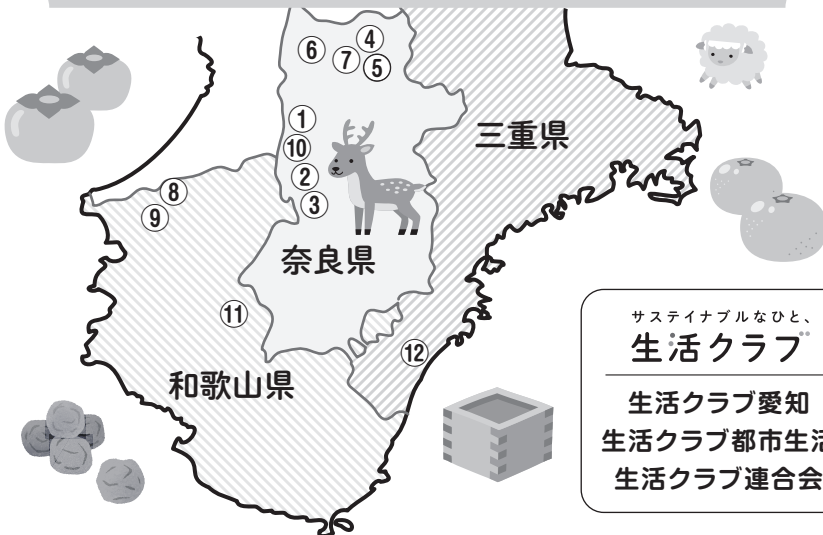


▲旬を運びます

- ⑪ 旬彩くまの
- ⑫ (有)御浜天地

詳しくは
2面へ→

紀伊半島地域協議会のメンバーは12の生産者と
生活クラブ愛知・都市生活・連合会です



サステイナブルなひと、
生活クラブ

生活クラブ愛知
生活クラブ都市生活
生活クラブ連合会

contents

P1 組合員と産地で未来を拓く

P2 紀伊半島地域協議会と
生活クラブ愛知のこれまでとこれから

P3 みんなの声でつくる2026年度の活動を一歩ずつ

P4 GMOフリーゾーン
太陽光パネルリサイクルの義務化署名活動

参加申込
QR有

紀伊半島地域協議会と生活クラブ愛知のこれまでとこれから

紀伊半島地域協議会とは

紀伊半島地域では2015年からみかんの生産者グループが話し合いを始め、2018年に(株)紀伊半島エリア再生産組織※(通称KARP)を設立しました。2019年には紀伊半島地域協議会として、消費者である生活クラブと紀伊半島の農業関係者、この地域の持続性を考える上で重要な林業関係者等も参画しています。生活クラブ愛知は2023年11月から参加しています。※(株)紀伊半島エリア再生産組織：王隠堂農園・紀州果宝園・和光農園グループ・旬彩くまので構成



▲梅の収穫作業は脚立を使います

生活クラブ愛知が参加する意義は？

紀伊半島地域には生活クラブの生産者である王隠堂農園やみかんの産地があります。元々「コア産地」として交流があり、愛知にとって身近な青果物の産地でした。みかんや柿、梅の生産現場が抱える後継者不足、人口減少、気候変動などの課題を、消費者として共に考えていく必要があると考えました。

まずは産地を知ることから始め、

2023年は役員研修で産地を訪問し、2024年は三重県にある御浜天地農場で梅の収穫体験などで交流を行いました。そして、組合員に産地を身近に感じてもらえるよう、年2回の展示会には産地の青果物や木工製品、日本酒などの販売を通して交流を図っています。



▲山で木を切り倒す作業は危険をとまいません

紀伊半島の生産者が取り組んできたこと

協議会は年に3回行われ、生活クラブの単協として愛知と都市生活(兵庫)の2単協が参加しています。奈良も和歌山も山が多く森林面積は7~8割、平地が少ないので作られるものも限られています。林業とは切っても切れない地域ですが、輸入木材に押されて国産の木材の値段が安くなり、危険な上に食べていけない仕事となり、若い人に敬遠される仕事になっています。山の手入れがされないことで山が荒れ、気候変動による集中豪雨などの被害も心配です。

農業の担い手がないことも深刻です。生産者はきつい仕事のイメージを減らせるよう、リモコン操作できる草刈り機械や圃場に行かなくても生育状況がわかるモニタ



▲ひつじによる除草の取り組み

リング機器などスマート農業を取り入れ、省力化や労力軽減を図ってきました。鳥獣害もあるので電気柵の取り付けや、食べられないように作る作物にも工夫が必要です。傾斜がきつい圃場での果樹の無農薬栽培のために、羊を導入し草を食べさせるなど様々なチャレンジもしています。

これからの展望は？

生産者に作り続けてもらうためには食べるだけでなく、生産現場への支援が必要です。愛知の組合員が産地に行ってこの土地に親しみ、生産の働き手として援農に行くことができたかと考えています。10月の協議会では奈良県桜井市で耕作放棄地を共同農場にする構想について説明を受け、現地を視察しました。ゆくゆくは共同農場の立ち上げにも関わり、この地に関わる人を増やすことができたかと夢が膨らみます。

2月の展示会には紀伊半島の生産者が来場します！ぜひ足を運んでください。



▲展示会でお待ちしています

みんなの声でつくる2026年度の活動を一步步



▲みんなの「やりたい」を話し合います

2026年度の組合員活動に向けて、尾張名古屋・西三河・東三河の3ブロックで話し合いを進めています。各地域で集まった組合員の思いや地域特性を持ち寄り、これまでの取り組みをどう引き継ぎ、どのような活動につなげていくかを丁寧に協議しています。

改めて「目的」の確認

「組織再編」「ブロック体制化」といった言葉を使いますが、これらは目的ではなく「手段」です。めざしているのは、組合員が主体となって参加し、課題を解決していく

組織づくりです。これまで共育研修を続けてきた一方で、新しいリーダーの登場が難しくなってきました。人数が少なくても、当番制ではなく「意思ある参加」がより求められています。そこで一度枠組みを広げ、仕切り直すための組織再編を進めています。

「やりたい」を「組合員活動」へ

「コレは、今後も続けたいよね」や、「私はこんなことをやりたいんだけど、どうしたら実現できるの?」をテーマに繰り返してきたワークショップを経て、11月には広く「私のやりたい組合員活動」を募集しました。また、これまでの「ブロック準備会」は「ブロック経営委員会準備会」と名称を変え、12月からは予算案や来年度活動方針を作成する機関会議となります。申請された「私のやり

たい」の「目的・目標・活動計画・予算」を整理することで、「組合員活動」にし、申請された様々な「私のやりたい」を統合的に組立て「ブロック活動」にしていくのが「ブロック経営委員会準備会」の役割です。

ブロック大会へ

半年に1回、組合員が支払っている600円の「組合員活動費」は、仲間づくり・利用結集・つながりづくりなどの活動に使われています。消費材の価格に混ぜ込まず別立てにすることで、活動費を「見える化」しているものです。その使い方を決めるのが「大会」であり、決めるのは組合員自身です。「ブロック大会のお知らせ」が届いたら、ぜひ参加(書面参加も可)してください。活動費の使い方を知る権利と、大会に参加する義務が、組合員一人ひとりにあります。(理事長 中野 京子)

(副理事長 小林美穂)

奈良に夢中です。主人と温泉や水、神社仏閣巡りを楽しみます。温泉は源泉掛け流しが必要、飲泉があればなお良し。飲泉割り焼酎はさらに良し▼不思議と私が気になる場所は主人の旅程に含まれることしばしば。長谷寺、金峯寺、脳天神社、大神神社、丹生川神社、天神社など、神秘的な社寺を何度も訪れます▼水が美味しいとお酒も美味しい。食べるカタクダに載る美吉野醸造では昔ながらの酒造り。『生活と自治』で紹介された東吉野の坂利製麺所レストランも異空間に入り込んだような素敵な場所。王隠堂のレストランは清々しい気持ちになれる美味しいお食事所でした▼気になる人は2月21日・22日吹上ホールの紀伊半島地域協議会ブースへGO



10月事業報告

組合員数	加入	脱退
11,015人	42人	-109人
出資金	1人当り出資金	
1,367,930 千円	123,665 円	
供給高	1人当り供給高	
268,208 千円	25,483 円	
▼共済加入件数		
ハグくみ	CO・OP共済	エコ共済
1,328 件	4,715 件	8,516 件

生活クラブでんき契約者

累計450件(10月)
再エネ100%プラン 25件
時間帯別プラン 14件




生活クラブ
でんき

今月のリユース率

ビン 回収率(10月)
900mlびん…116.3%
500mlびん…96.5%
Rびん全体 …76.0%

グリーン
システム
30th
Reuse &
Recycle




GMOフリーゾーン (農地)登録を募集します!	GMOフリーゾーン サポーターを募集します!	GMOフリーゾーンカンパを 募集します!
所有の農地を「GMOフリーゾーン」として登録しませんか?農地の所在地と面積を報告し、宣言文書に署名します。	「遺伝子組み換え作物を作らない農家・売らない生産者を応援したい! 遺伝子組み換えでないものを選んで買いたい!」と思ったら登録をお願いします。	登録された農地に「GMOフリーゾーン看板」を立てています(希望する場合)。看板を立てるための費用として20万円を目標にカンパ活動に取り組みます!
登録の方法 二次元コードからお申込みいただけます。 特設ページからお進みください。 		期間: 11月3回~1月4回 OCR注文の方(注文番号) ▶145211 もしくはeくらぶから

太陽光パネルリサイクルの義務化を求める署名活動に取り組んでいます!

政府は太陽光パネルのリサイクル義務化を断念したと発表しましたが、2040年頃に年間40万トン規模の廃棄が予測されており、リサイクルの義務化は急務です。製造者にリサイクルしやすい設計を促し、国による法整備が必須と考えます。生活クラブでは、「太陽光パネルのリサイクル義務化を一刻も早く進めること」「リサイクルが一層すすむよう、体制を整えること」の2点を求め、WEB署名と紙署名を実施します。

ご賛同いただける方は、二次元コードから詳細をご確認の上ご協力をお願いいたします。

問い合わせ: TEL 052-899-0770 担当: 西尾





『2040地球再生のビジョン』映画上映会を開催します!!

主催:生活クラブ愛知理事会

日時: 2月6日(金)10:00~12:00 13:00~15:00の2回上映 会場:名古屋センター

「ベルベット、君に暮らしてほしい未来を描くよ」4歳の娘を持つオーストラリアの映画監督デimon・ガモーは、娘たちの世代には希望を持てる未来に生きてほしいと願い、もし悪化する地球環境を再生できるようなアイデアや解決策が今後急速に世界中に広がれば、娘が大人になる2040年にはどんな未来が訪れるだろう?と、解決策の実行者や専門家に会うため世界11ヶ国を巡る旅に出る。CGやポップな映像を交え、どのように地球を再生させることができるか、ワクワクするような未来予想図を描く。

理事会からのメッセージ

◆ 考えるだけでワクワクです

生活クラブの「組織」としてのスタートは6月の総代会ですが、それに向けて総代や組合員組織に「今年度はこんな感じだったね、来年度はこんなこと考えてるよ」の事前予告のようなことをする「策定資料」というものがあります。その策定資料を基に1月中旬から2月にかけて「来年度方針に対する意見交換会」が総代向けに開催されます。

年度半ばですが、頭の中は、もつ来年度のことでワクワクです。

◆ 色々な「仲間」づくり

「仲間づくり」という言葉は、多くは生活クラブの仲間になる意味から「拡大」場面で使われます。また、「食べる仲間(共同購入)」「助け合う仲間(共済)」「でんきを利用する仲間(でんき契約)」にも使います。

あと、生活クラブの組合員でなくても(組合員にならなくても)、生活クラブの考え方に共感した人がつながって、一緒に「まちづくり」活動をする「仲間」になることもありますよね。

◆ 参加してみよう!

このASK紙面や公式LINE またチラシなどで様々な参加呼びかけがされています。試食会や生産者との交流会だけでなく、とにかく地域で「集まることを」を目的としたものもあります。

生活クラブは、人と人の出会いからすべてが始まります。その出会いをどう作るかを考えるのが、私たち理事会の役目だと思っています。私たちはこれからも、あなたと出会うために知恵を絞り続けます!

発行日: 2025年12月15日 発行部数: 10,050部 発行責任者・編集: 理事会 編集: 理事会 作成: デザイン・カーズCOCOT 印刷: 株式会社マルフ
生活クラブ生活協同組合愛知本部 〒466-0045 名古屋市中区野並1-120 TEL 052-899-0770 FAX052-899-0802 名古屋センター: TEL 052-899-0801
尾張旭センター: TEL 0561-55-3611 豊田センター: TEL 0565-28-8345 豊橋センター: TEL 0532-65-9750 ひだまり館: TEL 0564-73-2767